

「信じれば成功する」という言葉は、多くの成功者が口にする真理であり、同時に多くの人が半信半疑に思うかもしれません。

しかし、これは単なる精神論ではありません。目標達成には「信じる力」が不可欠であり、それが行動を促し、困難を乗り越える原動力となるからです。

成功の秘訣は、「信じる力」と一貫して行なう「行動力」に集約されます。

まず、「信じる力」について考えてみましょう。私たちは、自分が信じていることに對しては積極的に行動できます。例えば、あるビジネスアイデアが成功すると心から信じている起業家は、寝食を忘れてその実現のために努力します。

一方、「どうせ無理だ」とあきらめている人は、最初の一步すら踏み出さないか、途中で挫折してしまいます。具体例として、かつて日本の製造業が国際競争力を失いつつある時期がありました。

そのような中、ある中小企業の社長は「我々の技術力は世界に通用する」と固く信じ、社員にもその信念を伝え続けました。周囲からは無謀だと批判されることもありましたが、社長と社員が一体となって技術革新に挑んだ結果、その企業はある特定の分野で世界トップシェアを獲得するまでに成長しました。

これは、社長の揺るぎない信念が社員を動かし、困難を乗り越える原動力となった典型例といえるでしょう。

次に、一貫して行なう「行動力」につい



継続の重要性を知り 信念と努力で成功へ導く

てです。「継続は力なり」という言葉があるように、どんな素晴らしいアイデアがあっても、それを継続できなければ成功にはつながりません。小さな努力の積み重ねが、やがて大きな成果として現われるのです。

例えば、語学の習得を考えてみてください。最初は、新しい単語や文法を覚えることに苦痛を感じるかもしれませんが、毎日少しずつでも学習を続けることで、着実に力がついていきます。ある経営者は、海外展開を目指すために英語学習を始めました。仕事が忙しい中でも、毎日九十分は必ず学習に充てると決め、それを二年間続けました。結果、流暢に英語を操れるようになり、海外での商談を成功させることができたのです。

「信じる力」と「行動力」が重要だと分かっているにもかかわらず多くの人が途中で挫折してしまうのでしょうか。理由として、「目標が曖昧」「結果が出ないことへの焦り」「周囲からの反対」「完璧主義」などがあります。例えば、資格試験に向けて学習を始めた際、最初は意欲的に取り組んでいたが、結果がすぐに出ないことに焦りを感じ、次第にモチベーションが低下してしまいます。

しかし、「自分ができる」と信じる心と、その信念に基づいた地道な努力を続けることで、一貫して築き上げられる成果があるはずです。困難に直面した時こそ、一歩ずつ前に進みましょう。

継続的な努力が、最終的には大きな成果をもたらすと心に刻みたいものです。